

製品名 アリル ヘキサノエート
製品コード 0000117

株式会社井上香料製造所
改訂日 : 2025年4月1日
確認日 : 2025年4月1日
作成日 : 2010年6月3日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名）	アリル ヘキサノエート
製品コード	0000117
供給者の会社名称	株式会社井上香料製造所
住 所	東京都世田谷区奥沢1-36-11
担当部門	品質保証部
電話番号	03-3726-1861(窓口)
推奨用途	食品用香料
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】

引火性液体	: 区分4
急性毒性(経口)	: 区分3
急性毒性(経皮)	: 区分3
急性毒性(吸入)	: 区分3
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない
水生環境有害性短期(急性)	: 区分1
水生環境有害性長期(慢性)	: 区分3

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル、注意喚起語



危険

危険有害性情報

可燃性液体
飲み込むと有毒
皮膚に接触すると有毒

製品名 アリル ヘキサノート
製品コード 0000117

株式会社井上香料製造所
改訂日 : 2025年4月1日
確認日 : 2025年4月1日

吸入すると有毒
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

- [安全対策(予防策)]
 - 火気厳禁。電気機器類、静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。
 - 保護手袋、保護眼鏡等を着用すること。
 - 取扱い後は充分に手洗いをする。
- [応急措置(対応)]
 - 皮膚や衣服に付着した場合: 多量の水と石けんで洗う。
 - 飲み込んだ場合: 口をすすぐ。無理に吐かせない。直ちに医師に連絡。
 - 多量に吸入し気分が悪くなった場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 - 症状に応じて医師に連絡。
 - 眼や皮膚の刺激又は発しんが生じた場合や吸入し気分が悪い場合は、医師の診断・手当を受ける。
 - 漏出物を回収し、環境への放出を避ける。
- [保管(貯蔵)]
 - 換気のある冷暗所(又は指定の場所)に密閉して適切に保管。
- [廃棄]
 - 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
一般名又は化学名	ヘキサン酸アリル
含有量	98 %以上
示性式	C9H16O2
官報公示整理番号	化審法 NO. 2-759
輸出(入)統計品目	2915.90
CAS NO.	123-68-2
EINECS NO.	204-642-4
TSCA	登録
FEMA NO.	2032
CoE NO.	2181
FDA NO.	172.515

4. 応急措置

- 吸入した場合
 - : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、頭を低くして横向きに寝かせ、身体保温に努める。
 - 被災者が意識を失っている場合には、口中の異物を取り除く。
 - 被災者の呼吸が止まった場合は、速やかに人工呼吸を行なう。
 - 応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合
 - : 石けんで充分洗浄後、清浄な水で洗い流す。
 - 必要に応じて医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合
 - : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診断を受ける。
 - コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。
- 飲み込んだ場合
 - : 口をすすぎ、コップ1~2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。

製品名 アリル ヘキサノート
製品コード 0000117

株式会社井上香料製造所
改訂日 : 2025年4月1日
確認日 : 2025年4月1日

無理に吐かせてはいけない。
被災者に意識が無い場合には、口から何を与えてもいけないし、吐かせようとしてもいけない。
応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護 : 火気に注意する。呼吸器用保護具を使用する。
に必要な注意事項

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥砂、粉末消火剤、二酸化炭素、泡沫消火剤等。
使ってはならない消火剤 : 棒状注水。
特有の消火方法 : 消火剤を火元へ放射、散布等をして消火する。
 消火作業は可能な限り風上から行う。
 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。
 火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火活動を行う者の特別な : 消火作業では、状況に応じて適切な保護具を着用する。
保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 : 作業の際、吸入や皮膚に触れない様、適切な保護具を着用し、
保護具及び緊急時措置 換気を良くして処理する。
環境に対する注意事項 : 飛散した化学品が風雨等で河川等に排出され、環境に影響を
 起こさないように留意する。
封じ込め及び浄化の方法 : 飛散したものは静かに掃き集めるなど回収し、紙袋又はドラム等に
及び機材 入れた後、安全な場所に保管し廃棄処理する。
二次災害の防止策 : 付近にある着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を
 準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うこと。
安全取扱い注意事項 : 火気厳禁。電気機器類、静電気、スパーク等による着火源を生じないように
 する。
 ばく露防止の為、適切な保護具を着用して作業を行う。
 蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。
 取扱い後は充分に手洗いをする。
接触回避 : データなし
保管
安全な保管条件 : 適切な換気のある乾燥した冷暗所(又は指定の場所)に密閉して保管する。
 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等の法令の定めるところに
 従う。
安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 :

成分名	濃度基準値			許容濃度	
	管理濃度	8時間	短時間	日本産業 衛生学会 ¹⁾	ACGIH (TWA) ²⁾
アリル ヘキサノート	-	-	-	-	-

水生環境有害性短期(急性)：区分1
水生環境有害性長期(慢性)：区分3
生態毒性：知見なし。
残留性・分解性：知見なし。
生態蓄積性：知見なし。
土壌中の移動性：知見なし。

製品名 アリル ヘキサノート
製品コード 0000117

株式会社井上香料製造所
改訂日 : 2025年4月1日
確認日 : 2025年4月1日

オゾン層への有害性 : 知見なし。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、 : 産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた
かつ環境上望ましい廃棄、又は 処理業者に委託する。内容物を完全に除いた後
リサイクルに関する情報 処分する。処理は法規の規定に従って行う。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 船舶安全法、港則法等に定められている輸送方法に従う。

航空輸送 航空法等に定められている輸送方法に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

容器を転倒、落下等粗暴な取扱いをしない。

火気厳禁とする。

緊急時応急措置指針 指針番号 153

国際規則

国連番号 2810

国連輸送名 TOXIC LIQUID, ORGANIC, N.O.S.

国連分類 6.1(毒物)

容器等級 III

海洋汚染物質 該当

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 該当しない

化学物質把握管理促進法 : 第一種指定化学物質
アリル=ヘキサノート

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

消防法 : 第四類 第三石油類 危険等級 III

食品衛生法 : 食品添加物 香料 (ヘキサン酸アリル)

16. その他の情報

参考文献

1)産業衛生学会誌(2023年度版)

2)Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices (ACGIH) 2024年度版

3)香料のGHS対応の手引き(改訂3版) 日本香料工業会

4)独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)GHS分類結果

5)香料の表示指針(2016年版) 日本香料工業会

6)IFRA-IOFI Labeling Manual 2018

7)弊社社内資料

記載内容の取扱いについて

記載内容は現時点で当社が入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが記載のデータや
評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途
・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱願います。

製品名 アリル ヘキサノート
製品コード 0000117

株式会社井上香料製造所
改訂日 : 2025年4月1日
確認日 : 2025年4月1日

添付資料 別表
製品(混合物)及び有害性を有する成分の有害性情報、環境影響情報 3)4)6)

有害性項目	製品(混合物)の GHS分類	有害性を有する成分のGHS分類	
急性毒性(経口)	区分3		
急性毒性(経皮)	区分3		
急性毒性(吸入)	区分3		
皮膚腐食性／刺激性	分類できない		
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない		
呼吸器感作性	分類できない		
皮膚感作性	分類できない		
生殖細胞変異原性	分類できない		
発がん性	分類できない		
生殖毒性	分類できない		
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない		
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない		
誤えん有害性	分類できない		
水生環境有害性短期(急性)	区分1		
水生環境有害性長期(慢性)	区分3		